

## 平成26年度 部局長マネジメント方針

たかはし かつしげ  
副市長 高橋 克茂



### 私の決意

私は、平成24年7月に副市長を拝命いたしました。それまでは、国土交通省の職員として、道路や公園などの施設をつくり、これを管理する仕事、あるいは、都市計画に関する仕事に携わっていました。これらの仕事を通じて得た思いは、魅力的なまちづくりを進めるためには、市民のみなさまのご理解とご協力が不可欠であるということです。もちろん東大阪市の役所は市民のための役所であり、こうしたまちづくりの先頭に立たなければなりません。しかし、まちづくりという大きな事業は、市役所が頑張るだけでは達成できません。

城を築かなくても戦国最強と言われた武田信玄の有名な言葉に「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」という言葉があります。これをまちづくりにあてはめると、「まちづくりを成功させるためには、人（市民）の力が必要です。人（市民）の協力を得られるような、人（市民）の力を十分に発揮できるようなしくみを作ることが大切です。また、人（市民）には誠実な態度こそが相手の心に届き、人（市民）の理解と協力を得ることができます。」というふうな解釈になると思います。つまり、まちづくりは、人（市民）によって成功させることができるのです。

私は道路、上下水道、公営住宅、公園、河川、公共建築物などの社会資本を担当する副市長として、これらの社会資本の整備・維持管理などを通じて、市民のみなさまに、東大阪のまちづくりにご理解とご協力をいただき、喜んでご参加いただけるような施策や事業を行って参りたいと思います。例えば、東大阪市の今年、景観条例を制定しました。「市役所が良好な景観の保全や創出に一步踏み出したのだから、私たちもまちの景観が良くなるように協力しよう。出来ることから始めてみよう。」と市民のみなさまに考えていただけるよう、取り組んで参りたいと思います。東大阪市の役所と市民のみなさまが、車の両輪としてまちづくりに取り組めば、東大阪は日本で一番魅力的なまちになると思っています。